

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 18 号 (2019 年 11 月 14 日発行)

先の大型台風により被害を受けられた方々にお見舞い申し上げます。
またそのような状況下、全日本ロング大会に参加や運営協力をいただきました方々にお礼申し上げます。

●本号の内容

- ・スポーツ庁のガバナンスコードとその対応について[説明会のお知らせ]
- ・オフィシャルパートナー紹介
- ・第 46 回全日本ロングオリエンテーリング大会報告
- ・第 22 回理事会議事録 (暫定版)
- ・第 22 回理事会議事録補足
- ・2019 年度公認大会・講習会のお知らせ

●スポーツ庁のガバナンスコードとその対応について[説明会のお知らせ]

スポーツ庁では、五輪後のスポーツ文化の醸成に向けて、また、昨今話題になっているスポーツ団体の不祥事根絶をめざし、ガバナンスコード (組織が守るべき規範) を策定しています。今後、全てのスポーツ団体がガバナンスコードを遵守することが求められています。

ガバナンスコードの説明を全日本リレーの開会式時の対話集会として実施します(12月7日13時予定)。会員、登録者の皆さんと、よりよい組織の在り方を考えていきたいと考えています。ふるってご参加ください。

●オフィシャルパートナー紹介 (事務局)

今回はオフィシャルスポンサーの株式会社ニチレイ様から、会社のご紹介、オフィシャルパートナーとなったきっかけ、オリエンテーリング界への期待についてご寄稿いただきました。

① 会社の紹介

ニチレイは、「暮らしを見つめ、人々に心の満足を提供する」というミッションを掲げており、皆さまの食や健康を支える幅広い事業を展開しております。2005年にはニチレイを株式会社ニチレイフーズ (加工食品)、ニチレイフレッシュ (水産・畜産)、ニチレイロジグループ (低温物流)、ニチレイバイオサイエンス (バイオサイエンス) という事業会社からなる持株会社体制に移行しました。ニチレイフーズでは、米飯カテゴリーで 18 年連続売上 NO 1 の「本格炒め炒飯®」をはじめ、「特から®」、「今川焼」、「お弁当に Good!®シリーズ」などの家庭用冷凍食品を製造・販売しています。

② オフィシャルパートナーになろうと思ったきっかけ

ニチレイは 2015 年に創立 70 周年記念として、「優秀技能コンテスト」という社内イベントを行いました。このコンテストは業務に関係することからプライベートの趣味までニチレイグループ社員の知られざる特技を表彰するものですが、運動部門の特別賞を受賞したのが、ニチレイバイオサイエンスの寺嶋一樹さんでした。寺嶋さんは日本オリエンテーリング協会の強化委員として選手の育成に取り組んでおり、ニチレイグループにそういった人材がいることを同コンテストを通じて多くの社員が知ることになりました。

元々ニチレイは、食と健康を応援する企業として、スポーツ支援を積極的に行ってきました。女子プロゴルフトーナメントの主催や、日本スケート連盟のオフィシャルパートナー、日本水泳連盟が認定する泳力検定制度のスポンサーなどです。そういった歴史もあり、2018 年度よりオフィシャルパートナーとして応援しております。

③ オフィシャルパートナーとしての期待

社内においてもオリエンテーリングがスポーツだという認知はまだまだ低い状況があると思います。認知度をあげるには、いろいろな媒体で取り上げられていくことが必要だと思いますが、そのためには競技力の向上が必須だろうと思います。現在、私どものサポートは会社ロゴ入りのミネラルウォーターの提供に限られておりますが、社内外で認知度が上がればさらなる協力もできているので、支援と貢献の良い循環が構築されていけばと願っております。

JOA オフィシャルパートナーにご興味のある方をぜひご紹介ください。

連絡先：joa@orienteering.or.jp 事務局

●第46回全日本ロングオリエンテーリング大会報告

(副会長、全日本ミドル イベントアドバイザー：愛場)

第46回全日本オリエンテーリング選手権大会（ロングディスタンス部門）は、去る2019年10月14日（月・祝）に、滋賀県高島市の高島農村広場を会場として開催されました。

本大会は、今回からプロデューサーとなった西村徳真氏(NishiPRO)が、収益面での持続可能な大会とすることを目指し、「プロによる適格な大会とする」、「適正な参加費を取る」、「1つのトレインの収益性を上げる」という考えを実践されました。そのため、全日本ミドル選手権との2日間大会（同一会場）で予定されておりました。当初は、11月の3～4日の計画だったのですが、本年は狩猟解禁期日が11月1日からということが判ったため、10月に開催することになった経緯がありました。ところがそれが災いし、予定前日の10月12日は台風19号が上陸する事態となりました。実行委員会では、10月8日の時点で事前中止・途中中止の判断基準、周知・連絡・安全確保策について運営幹部で共有、10月9日夜の時点で大会中止判断基準を公表し、直前の深夜早朝にも事態の推移を見つめつつ議論を重ねました。最終的には、13日のミドルは中止、14日のロングは、交通機関が寸断され、東日本を中心に被害が広がる中ではありましたが、天候・交通機関とも回復が見られそうなので、開催を決定しました。

台風19号やその後の豪雨などで被災された皆様には、改めてお見舞いを申し上げます。大会会場では、被災地のための募金を集め、15,922円が集まりましたので、日赤令和元年台風第19号災害義援金に寄付させていただきました。寄付を頂戴した皆様、有難うございました。参加者数は、東日本からの欠席者が目立ったこともあり484人（エントリー数は595人）でした。

本大会のトレインは、当初滋賀県がWMG2021に立候補をするときの候補地として挙げたところで、オリエンテーリングでの利用は初めてとなるトレインでした。WMG2021が兵庫県での開催が決定したため、全日本大会として開催したという経緯があり、地元は非常に協力的でした。

のっぺりとした台地と、深くえぐれた沢が地形上の特徴です。走行可能度はBやCのエリアが大半をしめ、道や小道はあまり見られません。1年前の台風で倒木が多くなったこともあって、走行にはタフさが求められかつナビゲーション難度も高い、体力、技術力がともに要求されるトレインです。そういうわけで、真のチャンピオンを決めるにはふさわしいトレインですが、一方で、初心者やBクラスのコースを組むのが非常に難しいトレインでもありました。

コースプランナーの宮西優太郎氏、競技責任者の玉木圭介氏の努力により、ルートチョイスのバリエーションに富むロングレグなど、ロングディスタンスの理念を反映したコース設定がなされ、NishiPRO作成の正確な地図と相まって、全日本選手権大会としての高い質は保たれたと思われます。多くの選手が難度の高いトレインに苦しんだようですが、それでもエリート選手は想定ウィニングタイムを上回ったのはさすがと言えます。

結果は、M21Eでは小泉成行選手、W21Eでは増澤すず選手、M20Eでは朝間玲羽選手、W20Eでは岩崎佑美選手が、日本選手権者の栄冠を獲得しました。本大会はIOFのWorld Ranking Event (WRE)として開催され、M21Eで11名、W21Eで5名の外国人選手（ノルウェー、香港）の参加がありました。ノルウェーのエリート選手であるTorgeir Noerbech選手は、日本のトップ小泉選手に10分以上の大差をつけての圧勝で、北欧エリートの実力を見せつけました。

初めに述べましたように、本大会は今回からプロデューサーとなった西村氏が中心となって動き

ましたが、地元滋賀県協会のスタッフとの連携が良く、また学生諸君の運営参加によるところが大きかったです。競技者が運営者にもなるというオリエンテーリングの文化、伝統は他のスポーツにはない良さです。多くの皆さんのご協力により本大会が無事終了したことに感謝申し上げます。

来年度は秋に八ヶ岳山麓で、トータスとNishiPROの共同運営でのミドル・ロング2日間大会の開催が予定されているようです。よりよい大会を期待したいと思います。

【M21E】			【W21E】		
1位	小泉 成行	1:20:23	1位	増澤 すず	1:11:29
2位	上島 浩平	1:21:31	2位	皆川 美紀子	1:16:14
3位	松下 睦生	1:21:51	3位	宮本 和奏	1:17:51

【M20E】			【W20E】		
1位	朝間 玲羽	1:06:29	1位	岩崎 佑美	1:12:24
2位	森清 星也	1:12:56	2位	土田 千聖	1:16:25
3位	宮川 靖弥	1:22:08	3位	古田島 鈴音	1:22:53

●第22回 JOA 理事会議事録（暫定版）

- 開催日 2019年9月22日(土) 10:00~14:30
- 開催地 日本オリエンテーリング協会事務局
- 理事
(出席) 藤井範久 伊藤好信 木村佳司 平島俊次 前田真理子 楠見耕介
愛場庸雅 瀬川 出 羽鳥和重 茅野耕治 奥田健史 小林 力
高橋利之 宮川早穂 藤本拓也
(欠席) 新帯 亮 島津 弘 山西哲郎 信原 靖
監事 尾上秀雄 (欠席) 齋藤和助
記録 高村 卓
傍聴 村越 真
- 議長 定款第32条により、愛場副会長が務めた。

審議事項 10:30~12:30

- 内閣府提出の事業報告書の訂正とそれに伴う対応について
事務局から平成30年度内閣府提出の事業報告書に訂正があることを説明した。
提出書類のうち、公益会計「公3」の収益額(3,418,500)に誤りがあった。平成29年度での収益分が、30年度の報告書に反映されていない。修正(5,450,228)すると「黒字」となるため、黒字分(1,830,827)については「特別費用準備資金」を策定し、収益分を計上(端数繰り上げし、1,831,000)し運用することについて承認を求めた。
なお、運用については「特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程」に基づくことを説明した。
以上、審議の結果、全会一致で賛成し承認した。
- 規則、規程の改訂(資料)
事務局員賃金等内規 三年以上の勤務者に対して、時給を100円増額する賃金改定を提案した。
理事会運営規則 第4条会長を代表理事(会長及び副会長)、第4条2項会長を代表理事(会長及び副会長全員)、第5章業務執行理事を業務執行理事連絡会に訂正
旅費規程 第2条4項 自家動車を自家用車に訂正した。
倫理規程 第2条3項 競技者の定義を追加
第5条、第6条の「担当理事」を「危機管理・コンプライアンス委員会委員」とする
規程全般の「役員・職員」と記載されている部分を「役員・職員・競技者」とする

以上、審議の結果、全ての規程について、全会一致で賛成し承認した。

3. 新規委員会等の設置と委員の承認

(1) アスリート委員会

アスリート委員会とは、現役選手または選手経験者で構成され、競技環境の整備等をはじめとしたNFの業務について、選手の意見をくみ上げ、組織運営に反映させる会議体である。

アスリート委員会を設置する。

以上、審議の結果、全会一致で賛成し承認した。

今後の予定：2020年2月の理事会で委員長・委員を提案し発足予定。担当業務執行理事は総務担当木村理事。設置準備担当は宮川理事

(2) 役員候補者選考委員会

この委員会を今すぐ作るのではなく、ノミネーションWGの活動を充実し検討するにした。

(3) 倫理委員会

①現在ある倫理委員会を、危機管理・コンプライアンス委員会と名称を変更する。

不祥事等があったとき設置される倫理委員会では、実効性に乏しいため

②倫理委員会は、倫理規定第5条に基づいて有事の際に設置される委員会を言うこととする。

③危機管理・コンプライアンス委員会の委員の追加

天野 仁、愛場庸雅

以上、審議の結果、全会一致で賛成し承認した。

(4) 地域活性化委員会

委員追加：小八重善裕

以上、審議の結果、全会一致で賛成し承認した。

(5) 競技委員会

委員追加：緒方賢史

以上、審議の結果、全会一致で賛成し承認した。

5. 公認大会のあり方を考えるWGの報告と今後の対応

報告書を理事会として受け取り、本WGは解散することになった。今後の公認大会のあり方については、担当する委員会「競技・地域活性化」に提案することになった。

以上、審議の結果、全会一致で賛成し承認した。

6. 羽鳥理事からの提出議案

議案：2019年1月5日理事会にて、決議された失格追認の取り消しを求める。

事由として、失格追認となった根拠に重大な瑕疵が後日判明したため。と提案された。

・裁定委員の判断し手続き上の問題はない。

・裁定委員会の判断が最終。

以上、審議の結果、出席理事の内〔取り消す：4名、取り消さない：9名、棄権：1名〕となり、提案は否決された。

7. 競技委員会からの提出議案

競技委員会提出規約案について

うち、「全日本大会エリートクラス出場資格規則」について

以上、審議の結果、出席理事9名賛成、5名棄権となり、賛成多数により承認された。

「3. スタート地区の地図の配布および時計の設置」では、「スタートする者が時計を見てスタートできるように変更

(サイレントスタートできるように) (聴覚障害者でもスタート可能)

「4. アピール(上訴)」

以上、審議の結果、「3」については修正、「4」については保留とするという修正提案が出された。修正案を、全会一致で承認した。

本件についての競技委員会の迅速な対応について、村越顧問から謝辞があった。

報告事項

1. 各委員会及び業務執行理事報告
2. 各ワーキンググループ報告
3. WOC 等国際大会の報告
4. AsJYOC 報告
5. J S A A 裁定と対応
6. I O F 会議報告

討議事項

1. スポーツ団体ガバナンスコード対応について

愛場副会長がガバナンスコードの原則 1 から 1 3 までの現状と具体策等をまとめた表を元に検討した。また、事務局より 4 年に一回の「適合性審査」及び毎年の「自己説明及び公表」が 2020 年度から始まることを説明した。これらを元にガバナンスコードの目標を達成できるよう検討していくことにした。

2. 今後の会議日程、場所

2019/11/12 (火) 業務執行理事連絡会 (スカイプ)
2020/ 2/ 2 (日) 業務執行理事連絡会 (対面：ARC 社屋)
2020/ 2/22 (土) 理事会 (東京)
2020/5 中旬 業務執行理事連絡会 (対面/スカイプ)
(I O F - S E A 来日の日程を避ける)
2020/5/30 または 31 理事会
2020/6/14 (日) 総会

以上

正式版は確定次第 JOA のホームページにて公開いたします。

●第 22 回 JOA 理事会議事録補足 (副会長：愛場)

スポーツ庁の中央競技団体向け「スポーツ団体ガバナンスコード」について

令和元年 6 月 10 日、スポーツ庁は、適切な組織運営を行う上での原則・規範として、スポーツ団体ガバナンスコード (以下「ガバナンスコード」) を策定、公表しました。これは、日本スポーツ協会 (JSP0)、日本オリンピック委員会 (JOC)、日本障がい者スポーツ協会 (JPSA) に加盟する団体に適用されますので、JSP0 加盟、JOC 承認団体である JOA もこれに従う必要があります。

2020 年度から、ガバナンスコードの適合状況についての自己説明及び公表を年 1 回実施するとともに、適合性審査を 4 年ごとに受け、その結果が公表されます。もしガバナンスの機能不全等による不祥事案件が発生した場合、必要な指導助言、改善に向けた支援、処分が行われます。全体で 13 項目の原則が決められており、それぞれに詳細な規定事項があります。(詳細は下記)

http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop10/list/detail/_icsFiles/afieldfile/2019/09/12/1420887_1.pdf

JOA の現状では、これらの原則を満たしていない部分が多いため、早急に対策を立ててゆく必要があります。

新たな委員会について

前記のガバナンスコードへの対応もあり、今回新たに 2 つの委員会を立ち上げることになりました。

- 1) アスリート委員会

ガバナンスコードによれば、アスリート委員会とは、「現役選手又は選手経験者で構成され、競技環境の整備等を始めとした中央競技団体の業務について選手の意見をくみ上げ、組織運営に反映させるための会議体」です。アスリート委員会の構成については、性別や競技・種別等のバランスに留意して適切な人選を行うことが求められ、そこにおける議論を組織運営に反映させるための方策につい

ては、委員会から理事会等に対する答申、報告等を行う仕組みを設けることが要求されています。

JOAとして具体的には、「競技者登録者等からの、希望・意見・疑義・クレームの受付・相談窓口となり、また逆に有力選手等へのヒアリングなどを行い、その結果を分析整理して対応策を練り、必要に応じて理事会、関連の各部門への報告、協議を行う」のが業務となります。

2) 危機管理・コンプライアンス委員会

ガバナンスコードでは、コンプライアンス委員会の設置（原則4）、コンプライアンス強化のための教育（原則5）、利益相反の管理（原則8）、通報制度の構築（原則9）、懲罰制度の構築（原則10）、紛争の迅速かつ適正な解決（原則11）、危機管理及び不祥事対応体制の構築（原則12）など、倫理、法令遵守、危機管理などへの対応が強く求められています。そこで従来の「倫理委員会」を、「危機管理・コンプライアンス委員会」として、これらに対応することとしました。

具体的には、JOAに関係するあらゆる雑多な社会的問題を、受付け整理し、適正かつ早期に解決することを目的としています。例えば、地元とのトラブル、選手・役員の倫理・問題行動、大会関係者・主催者・主管者や各種ステークホルダー間の関係、利益相反、等が考えられます。何か問題が起こった時に、個別の対応策の決定やアドバイスを行うこと。必要に応じて倫理規定に基づく倫理委員会を招集すること。リスクに関する情報収集やマナーの啓発などを行うこと。などが業務となると思います。

オリエンテーリングに関するトラブル、特に地元対応などについては、多くのところすでに情報収集がなされており、日頃の皆様の努力に感謝いたします。この委員会は出番がないのが理想ですので、引き続きご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

●今後の公認大会・講習会のお知らせ

- 11月16日 全日本オリエンテーリング大会[スプリントディスタンス競技]（福島県）
- 11月30日 2019年度第2回イベントアドバイザー研修会（東京都）
- 12月8日 全日本オリエンテーリング大会[リレー競技]（茨城県）
- 12月14日 第85回上尾大会 [公認S]（埼玉県）
- 12月14-15日 インストラクタ養成講習会（徳島県）
- 12月22日 栃木県協会大会 [公認S]（栃木県）
- 1月12日 PO 関西大阪大会 [公認S]（大阪府）
- 1月13日 PO 関西和歌山大会 [公認S]（和歌山県）
- 2月23日 第1回阪神奈大会 [公認B]（大阪府）

以上